



## 新規インストールバージョン 6.4.0

---

Firepower アプライアンスをアップグレードできない（または必要なアップグレードパスを実行したくない）場合は、Firepower のメジャー リリースを新規インストールできます。特定のパッチを実行するには、バージョン 6.4.0 をインストールしてからアップグレードしてください。

- [新規インストールの決定](#) (1 ページ)
- [新規インストールに関するガイドラインと制約事項](#) (3 ページ)
- [スマート ライセンスの登録解除](#) (5 ページ)
- [設置手順](#) (7 ページ)

### 新規インストールの決定

次の表を使用して、新規インストール（再イメージ化とも呼ばれます）する必要がある場合のシナリオを特定します。これらのすべてのシナリオ（ローカルとリモート間のデバイス管理の切り替えを含む）では、デバイス設定が失われます。



- 
- (注) 管理のイメージ再作成または切り替えを行う前に、必ずライセンスの問題に対処してください。Cisco Smart Licensing を使用している場合は、孤立した権限付与の発生を防ぐために、Cisco Smart Software Manager (CSSM) から手動で登録解除する必要があります。これらが生じると再登録できない場合があります。
-

表 1: シナリオ : 新規インストールが必要ですか。

シナリオ	ソリューション	ライセンスング
FMCで管理されているデバイスをより古い Firepowerバージョンからアップグレードします。	古いバージョンからのアップグレードパスには中間バージョンが含まれる場合があります。特に、FMCとデバイスのアップグレードを交互に行う必要がある大規模展開の環境では、この複数の手順のプロセスを完了するために時間がかかる場合があります。  この時間を短縮するために、アップグレードする代わりに、古いデバイスを再イメージ化することができます。  1. FMCからデバイスを削除します。  2. FMCのみをターゲットバージョンにアップグレードします。  3. デバイスを再イメージ化します。  バージョン5.xを実行している7000/8000シリーズデバイスのイメージを再作成する必要がある場合は、「 <a href="#">新規インストールに関するガイドラインと制約事項 (3 ページ)</a> 」を参照してください。  4. デバイスをFMCに再度追加します。	FMCからデバイスを削除すると、デバイスが登録解除されます。デバイスを再度追加した後、ライセンスを再割り当てします。
FTD管理をFDMからFMC（ローカルからリモート）に変更します。	<b>configure manager</b> CLI コマンドを使用します。 『 <a href="#">Command Reference for Firepower Threat Defense</a> 』を参照してください。	管理を切り替える前に、デバイスを登録解除します。デバイスをFMCに追加した後、ライセンスを再割り当てします。
FTD管理をFMCからFDM（リモートからローカル）に変更します。	<b>configure manager</b> CLI コマンドを使用します。 『 <a href="#">Command Reference for Firepower Threat Defense</a> 』を参照してください。  例外：デバイスが実行中であるか、バージョン6.0.1からアップグレードされています。この場合は、再イメージ化します。	FMCからデバイスを削除し、デバイスを登録解除します。FDMを使用して再登録します。
ASDMとFMC間のASA FirePOWER管理を変更します。	他の管理方法の使用を開始します。	クラシックライセンスについては、セールス担当者にお問い合わせください。ASA FirePOWERライセンスは、特定のマネージャに関連付けられています。

シナリオ	ソリューション	ライセンスング
ASA FirePOWER を同じ物理デバイス上の FTD に置き替えます。	再イメージ化します。	クラシック ライセンスをスマート ライセンスに変換します。『 <a href="#">Firepower Management Center Configuration Guide</a> 』を参照してください。
NGIPSv を FTDv に置き換えます。	再イメージ化します。	新しいスマート ライセンスについては、セールス担当者にお問い合わせください。
FDM を使用した FTD パッチをアンインストールします。	再イメージ化します。 FDM 展開環境では、パッチをアンインストールすることはできません。	再イメージ化する前に、デバイスを登録解除します。その後、再登録します。

## 新規インストールに関するガイドラインと制約事項

誤りを避けるには、注意深い計画と準備が役立ちます。Firepower リリースに精通していて、Firepower アプライアンスを再イメージ化したことがある場合でも、これらのガイドラインと制限事項に加えて、「[設置手順 \(7 ページ\)](#)」にリンクされている手順を必ず参照してください。

### イベントデータと設定データのバックアップ

外部の場所にバックアップして、正常に転送されたことを確認することを強くお勧めします。再イメージ化すると、システム パスワード (Admin123) などのほとんどの設定が工場出荷時の初期状態に戻されます。

ただし、再イメージ化してアップグレードする必要がある場合は、バックアップを使用して古い設定をインポートできないことに注意してください。同じ VDB を使用している同じモデルおよび Firepower バージョンのアプライアンスのみからバックアップを復元できます。

バックアップの最初のステップとして、パッチレベルと VDB のバージョンを書き留めておきます。バックアップを復元する前に、再イメージ化されたアプライアンスをそれらのバージョンに正確に更新する必要があります。

### からのデバイスの削除 Firepower Management Center

再イメージ化する前に、必ずリモート管理からデバイスを削除してください。現状は、次のとおりです。

- FMC を再イメージ化する場合、すべてのデバイスを管理から削除します。
- 単一のデバイスを再イメージ化するか、リモートからローカル管理に切り替える場合、その単一のデバイスを削除します。

## ライセンスの問題の対処

Firepower アプライアンスを再イメージ化する前に、ライセンスの問題に対処してください。状況により、Cisco Smart Software Manager からの登録解除が必要になります。また場合によっては、新しいライセンスについてセールス担当者にお問い合わせする必要があります。シナリオに応じて必要な操作を決定するには、「[新規インストールの決定](#)」を参照してください。

ライセンスの詳細については、次を参照してください。

- [Cisco Firepower System Feature Licenses Guide](#)
- [Frequently Asked Questions \(FAQ\) about Firepower Licensing](#)
- 設定ガイドのライセンスの章

## アプライアンス アクセス

再イメージ化により、ほとんどの設定が工場出荷時の初期状態に戻ります。

アプライアンスに物理的にアクセスできない場合、再イメージ化プロセスによって管理ネットワークの設定を維持できます。これにより、再イメージ化した後、アプライアンスに接続して、初期設定を実行できます。ネットワーク設定を削除する場合は、アプライアンスに物理的にアクセスできる必要があります。Lights-Out 管理 (LOM) を使用することはできません。



- (注) 以前のメジャーバージョンに再イメージ化すると、ネットワーク設定が自動的に削除されます。このようなまれなケースでは、物理的アクセスが必要です。

デバイスに関して、ユーザの位置からのトラフィックがデバイスの管理インターフェイスにアクセスするためにデバイス自体を通過する必要がないことを確認してください。FMC 展開では、デバイスを経由せずに FMC 管理インターフェイスにアクセスできる必要もあります。

## シスコとのデータの共有

一部の機能にシスコとのデータ共有が含まれます。

6.2.3+ では、Cisco Success Network は、テクニカルサポートを提供するために不可欠な使用状況に関する情報と統計情報をシスコに送信します。初期設定中に、参加を承諾するか、辞退するかを尋ねられます。また、いつでもオプトインまたはオプトアウトできます。

6.2.3+ では、Web 分析のトラッキングは、これに限定されませんが、ページでの操作、ブラウザのバージョン、製品のバージョン、ユーザの場所、FMC の管理 IP アドレスまたはホスト名を含む、個人を特定できない使用状況データをシスコに送信します。Web 分析トラッキングはデフォルトでオンになっています。ただし、初期設定の完了後にいつでもオプトアウトできます。

6.5.0+ では、（「シスコのプロアクティブサポート」とも呼ばれる）は、設定および運用上の健全性データをシスコに送信し、自動化された問題検出システムを通じてそのデータを処理して問題をプロアクティブに通知できるようにします。また、この機能により、Cisco TAC は TAC ケースの過程でデバイスから必要な情報を収集することもできます。初期設定中に、参加

を承諾するか、辞退するかを尋ねられます。また、いつでもオプトインまたはオプトアウトできます。

### 以前のメジャーバージョンへの Firepower 1000/2100 シリーズ デバイスの再イメージ化

Firepower 1000/2100 シリーズ デバイスを以前のメジャーバージョンに戻す必要がある場合は、完全な再イメージ化を実行することを推奨します。消去設定方式を使用すると、Firepower Threat Defense ソフトウェアに加えて、FXOS が復元しない場合があります。この場合、特にハイアベイラビリティ展開では、障害が発生する可能性があります。

詳細については、[Cisco FXOS Troubleshooting Guide for the Firepower 1000/2100 Series Running Firepower Threat Defense](#)に記載されている再イメージ化の手順を参照してください。

### バージョン 6.3.0 以降へのバージョン 5.x ハードウェアの再イメージ化

バージョン 6.3+ のインストールパッケージの名前が変更されていると、古い物理アプライアンス (DC750、1500、2000、3500、4000 のほか、7000/8000 シリーズ デバイスと AMP モデル) の再イメージ化に関する問題が発生します。現在バージョン 5.x を実行していて、バージョン 6.4.0 を新規にインストールする必要がある場合は、インストールパッケージをダウンロードした後、その名前を「古い」名前に変更します。『[Cisco Firepower Release Notes, Version 6.3.0](#)』の「Renamed Upgrade and Installation Packages」の情報を参照してください。

FMC (Defense Center) をバージョン 5.x からより新しいバージョンに再イメージ化した後、古いデバイスを管理することはできません。また、これらのデバイスを再イメージ化してから、FMC に再度追加する必要があります。シリーズ 2 デバイスは EOL であり、Firepower ソフトウェアの過去バージョン 5.4.0.x を実行できないことに注意してください。それらのデバイスを置き換える必要があります。

## スマート ライセンスの登録解除

Firepower Threat Defense デバイスは、ローカル (Firepower Device Manager) またはリモート (Firepower Management Center) で管理されているかどうかに関係なく、Cisco Smart Licensing を使用します。ライセンス供与された機能を使用するには、Cisco Smart Software Manager (CSSM) で登録する必要があります。後で再イメージ化または管理の切り替えを行うことにした場合は、孤立した権限付与を発生させないように登録を解除する必要があります。これらが生じると再登録できない場合があります。

登録を解除すると、仮想アカウントからアプライアンスが削除され、関連付けられたライセンスが解放されるため、ライセンスを再割り当てできるようになります。アプライアンスを登録解除すると、適用モードになります。アプライアンスの現在の設定とポリシーはそのまま機能しますが、変更を加えたり展開したりすることはできません。

次の操作を行う前に、CSSM から手動で登録解除します。

- FTD デバイスを管理する Firepower Management Center を再イメージ化する。
- FDM によってローカルで管理されている Firepower Threat Defense デバイスを再イメージ化する。

- Firepower Threat Defense デバイスを FDM から FMC 管理に切り替える。

FMC からデバイスを削除すると、CSSM から自動的に登録解除されます。これにより、次のことが可能になります。

- FMC によって管理されている Firepower Threat Defense デバイスを再イメージ化する。
- Firepower Threat Defense デバイスを FMC から FDM 管理に切り替える。

上記の 2 つのケースでは、FMC からデバイスを削除すると、デバイスが自動的に登録解除されます。FMC からデバイスを削除すれば、手動で登録解除する必要はありません。



**ヒント** NGIPS デバイスのクラシック ライセンスは、特定のマネージャ (ASDM/FMC) に関連付けられており、CSSM を使用して制御されません。クラシック デバイスの管理を切り替える場合、または NGIPS 展開から FTD 展開に移行する場合は、セールス担当者にお問い合わせください。

## の登録解除 Firepower Management Center

FMC を再イメージ化する前に Cisco Smart Software Manager から Firepower Management Center の登録を解除します。これは、管理対象の Firepower Threat Defense デバイスの登録も解除します。

FMC が高可用性に設定されている場合、ライセンスの変更が自動的に同期されます。他の FMC の登録を解除する必要はありません。

**ステップ 1** Firepower Management Center にログインします。

**ステップ 2** [システム (System)] > [ライセンス (Licenses)] > [スマートライセンス (Smart Licenses)] を選択します。

**ステップ 3** [スマートライセンスのステータス (Smart License Status)] の横の停止記号 (●) をクリックします。

**ステップ 4** 警告を読み、登録解除することを確認します。

## を使用した FTD デバイスの登録解除 FDM

再イメージ化するか、またはリモート (FMC) 管理に切り替える前に、ローカルの管理対象 Firepower Threat Defense デバイスの登録を Cisco Smart Software Manager から解除します。

高可用性のために設定されているデバイスの場合は、その装置を登録解除するために、高可用性ペアにあるその他の装置にログインする必要があります。

**ステップ 1** Firepower Device Manager にログインします。

- ステップ2** [デバイス (Device) ] をクリックし、[スマートライセンス (Smart License) ] のサマリーで [設定の表示 (View Configuration) ] をクリックします。
- ステップ3** 歯車ドロップダウンリストから [デバイスの登録解除 (Unregister Device) ] を選択します。
- ステップ4** 警告し、登録を解除することを確認します。

## 設置手順

リリースノートとアップグレードガイドにはインストール手順は含まれていません。代わりに、次のドキュメントのいずれかを参照してください。インストールパッケージはシスコサポートおよびダウンロードサイトから入手できます。

表 2: *Firepower Management Center* のインストール手順

FMC プラットフォーム	ガイド
FMC 1600、2600、4600	<a href="#">Cisco Firepower Management Center 1600, 2600, and 4600 Hardware Installation Guide</a> : Restoring a Firepower Management Center to Factory Defaults
FMC 1000、2500、4500	<a href="#">Cisco Firepower Management Center Getting Started Guide for Models 1000, 2500, and 4500</a> : Restoring a Firepower Management Center to Factory Defaults
FMC 750、1500、2000、3500、4000	<a href="#">Cisco Firepower Management Center Getting Started Guide for Models 750, 1500, 2000, 3500 and 4000</a> : Restoring a Firepower Management Center to Factory Defaults
FMCv	<a href="#">Cisco Firepower Management Center Virtual Getting Started Guide</a>

表 3: *Firepower Threat Defense* のインストール手順

FTD プラットフォーム	ガイド
Firepower 1000/2100 シリーズ	<a href="#">Cisco ASA and Firepower Threat Defense Reimage Guide</a> <a href="#">Cisco FXOS Troubleshooting Guide for the Firepower 1000/2100 Series Running Firepower Threat Defense</a>
Firepower 4100/9300 シャーシ	<a href="#">Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Configuration Guides</a> : イメージ管理に関する章 <a href="#">Cisco Firepower 4100 Getting Started Guide</a> <a href="#">Cisco Firepower 9300 Getting Started Guide</a>
ASA 5500-X シリーズ	<a href="#">Cisco ASA and Firepower Threat Defense Reimage Guide</a>
ISA 3000	<a href="#">Cisco ASA and Firepower Threat Defense Reimage Guide</a>

<b>FTD プラットフォーム</b>	ガイド
FTDv: VMware	<a href="#">Cisco Firepower Threat Defense Virtual for VMware Getting Started Guide</a>
FTDv: KVM	<a href="#">Cisco Firepower Threat Defense Virtual for KVM Deployment Getting Started Guide</a>
FTDv : AWS	<a href="#">Cisco Firepower Threat Defense Virtual Quick Start Guide for the AWS Cloud</a>
FTDv : Azure	<a href="#">Cisco Firepower Threat Defense Virtual for the Microsoft Azure Cloud Quick Start Guide</a>

表 4: FirePOWER 7000/8000 シリーズ、NGIPSv および ASA FirePOWER インストール手順

<b>NGIPS プラットフォーム</b>	ガイド
Firepower 7000 シリーズ	<a href="#">Cisco Firepower 7000 Series Getting Started Guide : Restoring a Device to Factory Defaults</a>
Firepower 8000 シリーズ	<a href="#">Cisco Firepower 8000 Series Getting Started Guide : Restoring a Device to Factory Defaults</a>
NGIPSv	<a href="#">Cisco Firepower NGIPSv Quick Start Guide for VMware</a>
ASA FirePOWER	<a href="#">Cisco ASA and Firepower Threat Defense Reimage Guide</a> <a href="#">ASDM Book 2: Cisco ASA Series Firewall ASDM Configuration Guide : Managing the ASA FirePOWER Module</a>